

県内初！ 救急活動の支援用パワースーツを導入！ ～腰痛予防や女性救急隊員の現場活動をアシスト～

消防本部では、救急活動中における救急隊員の身体的負担、特に傷病者の搬送中における腰への負担や、女性救急隊員が現場活動を行う上での体力の不安や負担を軽減し、働きやすい環境を整えることを目的に、「HAL®腰タイプ作業支援用」パワースーツを導入しました。

導入したパワースーツで救急活動の効率化を目指し、継続的に効果の検討及び検証を行います。

- 1 運用開始日
令和元年7月16日（火）
- 2 導入台数
4台
 - ・本署救急隊 2台
 - ・北分署救急隊 1台
 - ・南分署救急隊 1台



※使用する隊員は出動前に装着（約30秒）

【「HAL®腰タイプ作業支援用」パワースーツの概要】

- 1 HALとは
身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる、世界初のサイボーグ型ロボット。
- 2 腰タイプ作業支援用とは
重量物を持ったときに、腰部にかかる負荷を低減することで、腰痛を引き起こすリスクを減らします。また、作業現場の労働環境改善や労働災害防止も期待できます。
- 3 特徴
脳から筋肉へ信号が伝わる際、皮膚表面に微弱な生体電位信号が発生し、その信号を読み取ることで、装着者の意思に従った動作をアシストし、持ち上げる時や運ぶ時の腰部への負荷を軽減します。



※記者会見終了後、11：30頃から消防本部車庫内でデモンストレーション及び使用体験を行います。

◎この件に関するお問合せ
海老名市消防本部警防課 電話046・231・0932